



JICA 草の根技術協力事業「中華人民共和国浙江省庵東鎮における環境教育 ・環境創造型農業の普及事業(コウノトリが結ぶ環境協力)」に係る派遣

兵庫県と豊岡市は、NPO 法人食と農の研究所(神戸市)を事業実施機関とし、コウノトリをシンボルとする環境教育とコウノトリ育む農法を介して、急激に悪化する中国上海都市圏周辺の農村環境の改善に向けた国際協力事業を、独立行政法人国際協力機構(JICA)の支援により実施している。2年目となる今年度は、7月に続き10月に7人を現地に派遣する。

また、「アジア湿地シンポジウム無錫 2011」(10月11日～13日、中国江蘇省無錫市)に参加する中貝市長がこの協力事業10月9日～10日に視察する。

1 実施日程

平成23年10月8日(土)～11日(火)〔秋期日程〕

2 派遣地

中華人民共和国浙江省慈溪市庵東鎮(せっこうしょう じけいし あんとんちん)

3 支援内容

(1) 環境教育

- ・庵東鎮のモデル小学校において児童や教諭を対象に豊岡市の小学校教諭と県立コウノトリの郷公園指導主事による環境教育の授業を行う。
- ・最終年度の来年度に向け、環境教育の実践カリキュラムや環境教材(テキスト、フィールドノート等)の作成作業をさらに進める。

(2) 環境創造型農業

- ・今年7月に田植えを実施した現地の水田や栽培状況等を調査し、コウノトリ育む農法の基本理念(農作物と生きものを同時に育む)を中心に現地指導を実施する。

4 派遣チーム

- ・倉石 寛(NPO 法人食と農の研究所理事、立命館大学教授)
- ・金井 文宏(NPO 法人食と農の研究所理事、株式会社都市文化研究所代表取締役)
- ・鮑 良(NPO 法人アジア交流センター理事長)
- ・岡田 弥一郎(兵庫県但馬県民局豊岡農業改良普及センター課長補佐)
- ・加藤 義弘(兵庫県立コウノトリの郷公園指導主事)
- ・山本 考一(豊岡市立城崎小学校教諭)
- ・上田 篤(豊岡市コウノトリ共生課長)



5 その他 この事業は、平成 22 年度～24 年度の 3 カ年事業（詳細は別添資料のとおり）。今回の派遣メンバーの中で N P O 法人食と農の研究所の倉石理事など 4 名は庵東鎮での業務終了後引き続き無錫のアジア湿地シンポジウム（10/11～13）に参加し、分科会（⑤湿地と農業）において当該事業の取組み説明を行う予定。

〈参考〉過去の取組み実績

項目	期間	人数	業務内容
中国へ専門家チームの派遣（1）	H22. 8. 17～24	7 人（内豊岡市コウノトリ共生課職員 2 人）	豊岡の取組み説明、現地の環境等の調査、今後の方向の協議など
中国の調査チームの豊岡受け入れ（1）	H23. 2. 23～24	6 人（庵東鎮人民政府関係者、教育関係者）	コウノトリ育む農法など野生復帰の取組みや環境教育の視察など
中国へ専門家チームの派遣（2）	H23. 7. 23～28	8 人（内豊岡関係者 5 人：県民局、J A、城崎小教諭、郷公園指導主事、コウノトリ共生課）	昨年度の現地調査を踏まえ、環境教育の実践カリキュラムや環境教材(テキスト、フィールドノートなど)作成に向けた関係者との打合せなど

[問合せ] 豊岡市コウノトリ共生部コウノトリ共生課 TEL 0796-21-9017
 兵庫県但馬県民局豊岡農業改良普及センター（担当 小松）TEL 0796-23-1001